

Event & Information

吉無田高原では年間多くの催し
が開かれています。皆さんもぜ
ひ、足を運んでください。



野焼き (3月)



草スキー大会 (5月)



サッカー大会 (7月、12月)



ふれあい夏祭り (8月)



熊本名水百選「吉無田水源」



- 1** やすらぎの丘
▶ 入園 無料
▶ 駐車場 8台
- 2** 緑の村 **3** ゆうすげの丘
▶ 営業時間 9時～17時
▶ 定休日 毎週月曜・年末年始
▶ 入村料 大人 200円
小中学生 100円
▶ 内容 草スキー、マウンテンパ
イク、キャンプ場の利用
▶ 駐車場 大型車2台
一般車180台
▶ 問い合わせ
緑の村 ☎285-2210
ゆうすげの丘は役場経済振興課
商工観光係まで ☎282-1607



「やすらぎの丘」の大ファン
東 ミヨシさん(田代・74歳)

孫の美結を連れて、月に数
回は足を運びます。時季折々
の花はきれいで、空気もおい
しくて、ほんにありがたい場
所。心の栄養ですね。新宅さ
んは暇を見つけては広場の
手入れもされていますよ。



「ゆうすげの丘」で音楽鑑賞
竹崎健太郎さん(上野・30歳)

山頂から見た夕日と夜景
に感動しました。せっかく皆
さんが造った舞台です。利用
することが恩返しだと思います。
子どもからお年寄りまで
知って、利用すれば、もっとい
い風が吹きますよ。

吉無田高原には、雄大な自
然に幸せを感じてほしいと広
場を開放する人がいた。山頂
から広がる絶景を一望しても
らうために舞台を造った人が
いた。舞台で音楽イベントを
開いた人がいた。

吉無田の大地には、人の心
を包み込んで、行動へと変え
る力が宿っている。

地域住民や町は、吉無田の
魅力を発信するために、年間
さまざまな催しを開いている。
多くの人に吉無田の価値を
知ってもらうために。観光資
源でもある吉無田は町民の誇
れる財産でもあるのだ。

本町には現在、約1万8千
人が暮らす。多くの町民に利
用されてこそ、吉無田の魅力
と可能性は無限に広がる。

吉無田の大地に今、多くの
人の思いを風に乗せ、新たな
風を吹かせていきたい。
未来へと吹く風を――

とっても夕日きれいだね
きつとまた見にこようね



思いは今風に乗って (終)

Photo / 「ゆうすげの丘」からの夕日

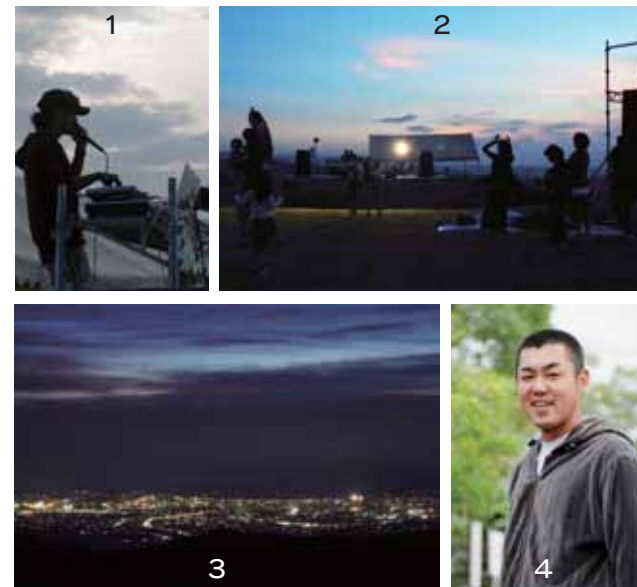


挑 戦

STUDIO 1592

高若原きに恋した下

熊本市内や有明海の絶景が広がる「ゆうすげの丘」。大人たちが情熱で造りあ
げた天空のステージ。若者たちが今、ステージに立ち音楽の風を吹きこんだ。



1_夕焼け雲を横にしながレゲエやヒップホップといった音楽を披露す
る出演者/2_陽が沈みはじめた特設会場では徐々にボルテージが上
がる/3_「ゆうすげの丘」から一望できる熊本市内の夜景/4_音楽イベ
ントを主催したSTUDIO1592の橋本潤二さん

吉無田高原「緑の村」の山
頂650mにある天空の舞台
「ゆうすげの丘」。完成から2
年目となる今夏、若き力が吉
無田を舞台に集結した。

9月10日、「BANRRANG
NG」と銘打った音楽イベン
トが「ゆうすげの丘」で幕を
開けた。主催はSTUDIO15
92。県内の音楽アーティ
ストを中心に、福岡や東京か
ら37組が出演。レゲエやヒッ
ップホップの音楽が吉無田の頂
上に響き渡り、訪れた若者を
中心に約200人が熱狂して、
熱気は翌朝まで続いた。

「ゆうすげの丘を若い力で何
かできるという気持ちが始ま
りでした」と開催動機を話す
のは、主催者の橋本潤二さん
(熊本市・28歳)。

吉無田高原の茶畑を仕事場
とし、吉無田の良さを知る橋
本さん。何気に御船町の友人・
竹崎健太郎さん(上野)に音
楽イベントの相談をしてみた。
「誰か一人でもイベントをすれ
ば、ほかの人も吉無田をもつ
と利用するかもしれない」と
竹崎さんは背中を押した。
すぐに町商工会や町へと相
談した。すぐに快諾された。

イベント企画、出演者の調整、
会場設営の準備、宣伝を同時
に進めて9カ月後、音楽イベ
ントを見事やってのけたの
だった。

「吉無田の景色は最高でした。
昼間は有明海を見て、沈む夕
日に、熊本市内の夜景と三回
楽しめました。吉無田を知っ
てもらえたことが第一歩です」
と確かな手ごたえを話す。

一方で、課題や反省点もあつ
た。御船町内への宣伝、予想
を下回る来場者数、会場案内
が指摘されたという。

「お叱りも受けました。小さ
な部分ほど丁寧しておくこ
とが大事だと勉強になりました
」と反省を口にする。

しかし徹底したこともある。
会場のごみ拾いや清掃といっ
た公共のルール。次回につな
がる大事な仕事だからだ。

「来年もぜひ、イベントを開
催させてもらいたいと思いま
す。もっと吉無田を使って楽
しめるようなイベントをした
いですね。そこから人と人が
つながるようなイベントに」
と先を力強く見据える。

若者の目に映る吉無田は、
音楽と景色を融合することで
無限の可能性が広がる。